

(新) 渡り鳥の飛来経路の解明事業費 20百万円( 0百万円)

自然環境局野生生物課・鳥獣保護業務室

## 1. 事業の概要

我が国で79年ぶりに発生した高病原性鳥インフルエンザについては、感染経路の究明において、渡り鳥がウイルスを運搬した可能性が指摘されている。一方、現在アジア地域には鳥インフルエンザウイルスが常在化しているとされるなど、新たな動物由来感染症の発生や、国内への広がりへの懸念があり、感染症の発生時において感染症発生国からの運搬の可能性を探るためにも、渡り鳥の飛来経路情報が求められている。

しかし、我が国に飛来する渡り鳥の経路解明には、人工衛星追跡等による詳細経路は一部の希少種でしか解明されておらず、また、東南アジアなど渡りの相手国での調査体制が不十分という問題がある。

このため、アジア・太平洋地域において、渡り鳥を捕獲、送信機を装着して、人工衛星追跡等を行うことにより、渡り鳥の中継地、移動経路、移動先を把握するとともに、東南アジア地域において、渡り鳥の飛来経路の調査体制の整備を支援する。

## 2. 事業計画

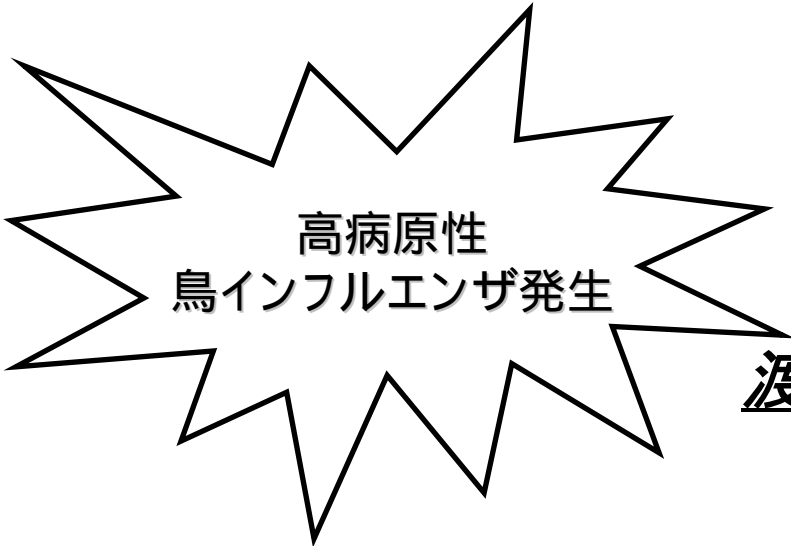
平成17～21年度(5ヵ年) 渡り鳥追跡等調査

平成17年度(単年度) 渡り鳥飛来経路諸外国の調査能力向上調査等

## 3. 施策の効果

我が国に飛来する渡り鳥の渡り経路の詳細を把握することや、東南アジアにおける渡り鳥の飛来経路の調査体制整備を支援することを通じて、動物由来感染症発生時の感染経路解明及び対策の検討に資する。

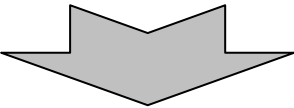
# 渡り鳥の飛来経路解明事業



渡り鳥によるウイルス運搬の可能性



渡り鳥はどのように移動しているのか？

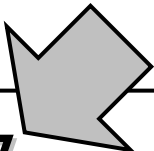
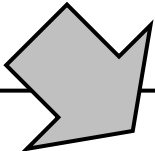


渡り鳥追跡等調査

- ・ 発信器装着による衛星追跡

東南アジア地域での渡り鳥飛来経路の調査能力の向上

- ・ 東南アジア地域の実態に応じた渡り鳥飛来経路の調査体制整備の支援。



渡り鳥経路の解明

— 感染症発生時の感染経路解明に寄与 —